

2019

The Behaviormetric Society

日本行動計量学会

第47回大会 プログラム冊子

Program of the 47th Annual Meeting of the Behaviormetric Society

2019年9月3日(火)～9月6日(金)



OSAKA UNIVERSITY

日本行動計量学会

第 47 回大会プログラム

2019(令和元)年度の日本行動計量学会第 47 回大会を大阪大学豊中キャンパスにおいて開催できますことは、大阪大学の関係者にとって無上の喜びでございます。会員の皆様にはぜひ積極的にご周知を賜りますようお願い申し上げます。

大阪大学は緒方洪庵によって 1838 年に開設された適塾を前身とする大学で、1931 年に医学部と理学部からなる大阪帝国大学として発足しました。大阪大学には、吹田、豊中(待兼山)、箕面のキャンパスがあります。そのうち、第 47 回大会の開催地である豊中キャンパスは、1926 年(大正 15 年)に旧制浪速高等学校がこの地に設立されたことや、大阪大学の教養課程がおかれたキャンパスとしても知られています。

大阪大学基礎工学部は、数学者で当時総長だった正田建次郎博士が科学と技術の融合を理念として掲げ 1961 年に設立された学部で、理学と工学の融合的研究を行っています。現在は、実行委員長である狩野裕が学部長、研究科長をつとめています。

日本行動計量学会の大阪大学での開催は 1993 年以来 26 年ぶりです。そのときは台風のため大会三日目が中止になってしまいました(直井優実行委員長)。昨年は、慶應義塾大学で開催された第 46 回大会の期間中に、台風が大阪を直撃し大きな被害が出ました。タンカーが関西国際空港の連絡橋に衝突し空港がしばらく利用できなくなったことは記憶に新しいと思います。第 47 回大会も、同じ日程(9 月 3 日から 9 月 6 日)ですが、無事に開催されることを願っています。

本大会は、基礎工学研究科と経済学研究科には共催という形でご協力いただいています。また、大会シンポジウムや柳井レクチャーといったレギュラーの企画以外に、行動経済学の大竹文雄名誉教授およびロボット工学の石黒浩名誉教授という大阪大学の看板教授による講演が企画されています。大会実行委員会は大阪大学と周辺の大学の教員および学会の大会委員によって構成しこれまで準備を進めてきました。本大会を盛り立てるべく、実行委員一同、最善を尽くす所存です。

多くの方々のご参加を賜り、活発な議論が繰り広げられますことを期待しています。

第 47 回大会実行委員長 狩野 裕

実行副委員長 鈴木 譲

(大阪大学 大学院基礎工学研究科)

大会の概要

1. 基本情報

- (1) 期 間:2019 年 9 月 3 日(火)～2019 年 9 月 6 日(金)
3 日(火)は、チュートリアルセミナー
- (2) 会 場:大阪大学豊中キャンパス基礎工学 B 棟(豊中市待兼山 1-3)
- (3) URL:<http://bsj.wdc-jp.com/2019/>
- (4) 問い合わせ先:
大会ヘルプデスク(bsj-desk@bunken.co.jp)
大会実行委員会(47.bms@bayesnet.org)
- (5) 大会の構成:
 - 9 月 3 日(火) 14:15～20:30(受付開始 13:30) チュートリアルセミナー
 - 9 月 4 日(水) 10:00～17:20(受付開始 9:30) 特別セッション、一般セッション、ラウンド
テーブル・ディスカッション
 - 9 月 5 日(木) 9:30～11:30(受付開始 9:00) 基調講演
12:30～14:00 ポスター発表
14:10～15:40 大会シンポジウム
15:50～16:50 柳井レクチャー
17:00～18:00 総会
18:20～20:30 懇親会
 - 9 月 6 日(金) 9:30～15:40(受付開始 9:00) 特別セッション、一般セッション、ラウンド
テーブル・ディスカッション

2. 大会までのスケジュール

- 2019 年 1 月 25 日(金) Web サイト公開
- 2019 年 3 月 15 日(金) 特別セッションの企画募集開始
- 2019 年 4 月 01 日(月) 大会参加事前申込、一般発表申込、抄録原稿受付
チュートリアルセミナー参加申込、各種開始
- 2019 年 5 月 06 日(月) 特別セッション企画募集締め切り
- 2019 年 5 月 31 日(金) 一般研究発表申込締め切り
- 2019 年 6 月 17 日(月) 抄録原稿提出締め切り
- 2019 年 6 月 28 日(金) 速報版プログラムウェブ公開
- 2019 年 8 月 06 日(火) プログラム冊子送付
- 2019 年 8 月 13 日(火) 事前参加申込締め切り
- 2019 年 8 月 16 日(金) 事前参加費振込締め切り
- 2019 年 9 月 03 日(火)～9 月 06 日(金) 第 47 回大会(チュートリアルセミナーは 3 日(火))

3. 参加費等

(1) チュートリアルセミナー参加費

テーマ A

	正会員	準会員(学生)	賛助会員	非会員(一般)	非会員(学生)
早期振込	3,000 円	2,000 円	3,000 円	6,000 円	4,000 円
当日支払	4,000 円	3,000 円	4,000 円	7,000 円	5,000 円

テーマ B

	正会員	準会員(学生)	賛助会員	非会員(一般)	非会員(学生)
早期振込	3,000 円	2,000 円	3,000 円	6,000 円	4,000 円
当日支払	4,000 円	3,000 円	4,000 円	7,000 円	5,000 円

- 早期振込は Web による参加申込(8 月 13 日(火)まで)と、参加費振込(8 月 16 日(金)まで)をともに行われた方が対象です。それ以後は当日会場にて、参加申込みを行い、参加費をお支払いください。

(2) 大会参加費

	正会員	準会員(学生)	賛助会員	非会員(一般)	非会員(学生)
早期振込	5,000 円	2,000 円	5,000 円	10,000 円	5,000 円
当日支払	7,000 円	4,000 円	7,000 円	12,000 円	6,000 円

- 大会参加費には抄録集 1 冊を含みます。
- 正会員には名誉会員・シニア会員を含みます。
- 賛助会員は 3 名様まで無料で参加できます。事前に参加券を 3 枚お送りしますので、この券を持参された方が対象です。4 人目以降は上記金額が適用されます。なお、事前参加申込みより無料の登録を行った方も、当日必ず参加券をご持参ください。
- 抄録集は 1 冊 3,000 円で頒布します。
- 早期振込は Web による参加申込(8 月 13 日(火)まで)と、参加費振込(8 月 16 日(金)まで)をともに行われた方が対象です。それ以後は当日会場にて、参加申込みを行い、参加費をお支払いください。

(3) 懇親会費

種別	一般	学生
早期振込	5,000 円	1,000 円
当日支払	6,000 円	1,000 円

- 定員に達した場合は受付を終了することがあります。
- 早期振込は Web による参加申込(8 月 13 日(火)まで)と、参加費振込(8 月 16 日(金)まで)をともに行われた方が対象です。
- 当日支払い分は 9 月 5 日の午前中までに、受付で参加申込を行い、懇親会費をお支払いください。

4. 振込先

	ゆうちょ銀行 振替口座
記号番号	00190-4-386225
加入者名	日本行動計量学会大会
口座名称(カナ)	ニホンコウドウケイリョウガッカイタイカイ

他の金融機関からゆうちょ銀行へお振り込みされる場合は、下記情報をご利用ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
店名	〇一九店(ゼロイチキュウ店)
店番	019
預金種目	当座
口座番号	0386225

※恐れ入りますが、振り込み手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

5. 宿泊について

実行委員会から宿泊先の手配や斡旋は行っておりません。ご自身でご手配をお願いいたします。

無線 LAN

会場では eduroam を利用できます。

会場の機器と発表用資料について

発表(「オーラル(口頭)」、「ラウンドテーブル」)には、液晶プロジェクタおよび大型スクリーンが利用できます。コネクタは VGA 方式に対応しております。PC はご自身のものをご持参ください。Mac OS の場合は変換アダプタをご用意ください。また、セッション開始前に接続テストを済ませてください。何か不都合がございましたら、大会実行委員会にご相談ください。

発表用の資料は原則として抄録集に掲載されたものとします。オーラル(口頭)セッションで補足資料を利用する場合は、50 部程度を目安として配布プリントをご持参ください。

一般セッションについて

本大会は、ある特定テーマについて議論を行う「特別セッション」と一般研究発表を行う「一般セッション」から構成されます。第 47 回大会の一般セッションの発表形態には、「ポスター」と「オーラル（口頭）」があります。

【ポスター】

割り当てられたセッション中にポスターを掲示し、かつ各ポスターの発表者が在席責任時間の 60 分間、質疑に応じるセッションです。質疑に応じることにより正式発表とみなされます。在席責任時間中に発表者の在不在の確認をします。詳細については、別項目「ポスターセッションについて」をご覧ください。

【オーラル（口頭）】

発表時間は、質疑応答を含めて 20 分です。座長の指示に従い、時間厳守でお願いいたします。1 名様につき 1 演題まで、ご登壇いただけます。「会場の機器と発表用資料について」の説明もご覧ください。

特別セッションについて

本大会は、ある特定テーマについて議論を行う「特別セッション」と一般研究発表を行う「一般セッション」から構成されます。第 47 回大会の特別セッションの発表形態には、「オーラル（口頭）」と「ラウンドテーブル」があります。

【オーラル（口頭）】

1 セッション 120 分で、3 件以上の発表をまとめ、一つの企画として実施されます。セッションは、オーガナイザー、司会者、討論者により進行します。それぞれのテーマに沿って発表を行い、発表に関しては、フロアーからの質疑応答も可能です。その 1、その 2 として、複数セッションで実施することもあります。発表形式の詳細については、事前にオーガナイザーにお問い合わせください。また、あわせて「会場の機器と発表用資料について」の説明もご覧ください。

【ラウンドテーブル】

特別セッション「ラウンドテーブル」は、1 セッションの時間が 60 分または 120 分で、各セッション 1～4 件の発表件数で実施します。全体の半分以上の時間を討論に充てるセッションです。詳細については、別項目「ラウンドテーブル・ディスカッションについて」をご覧ください。発表形式の詳細については、事前にオーガナイザーにお問い合わせください。また、あわせて「会場の機器と発表用資料について」の説明もご覧ください。

ポスターセッションについて

一般セッション「ポスター」は、2019 年 9 月 5 日(木)12:30～14:00 に実施します。発表は、次の要項に従って行いますので、発表者の方は、間違いのないようにしてください。

【ポスター発表の成立について】

1. ポスター発表は、指定された時刻までに会場の指定されたボード位置にポスターを掲示し、指定された責任在席時間(60 分間)中、在席し、質疑に応じることにより、正式発表とみなされます。
2. 責任在席時間は、2019 年 9 月 5 日(木)12:30～13:30 の 60 分間とします。責任在席時間以外の時間に在席されることは自由です。
3. 12:30 にポスターセッションの座長が席に着き、発表者の在席を順次確認します。その後、13:30 にも発表者の在席を確認します。
4. ポスター発表者が欠席した場合、および責任在席時間にはいない場合は、「発表取消」となります。発表者の欠席、(連名発表の場合の)発表者の交替などについては、会期前は大会実行委員会に、会期中はポスターセッション座長にご連絡ください。

【ポスターの準備について】

5. ポスター掲示板(ボード)の大きさは、横 180cm×縦 90cm(A0 サイズのポスターが掲示可能)です。これをポスターの大きさの上限として作成してください。
6. ポスターの上部には、発表題目と発表者全員の氏名と所属をご記入ください。連名の場合には主発表者に○印を付けてください。

【発表当日について】

7. 発表者は、発表当日の 11:30 までに総合受付で発表手続を行ってください。発表者の到着確認を行います。その際、ポスター掲示用の押しピンを受け取り、発表会場の指定された番号のボードにポスターを貼ってください(もし別の方法でポスターを貼り付けたい場合は、必要なものをご持参ください)。
8. 発表者がどこで発表を行うかは、ポスター会場にわかるように掲示しますので、ご確認の上、ご準備ください。
9. 発表者は、11:30 までに貼り付け作業を終了してください。11:30 の時点で貼り付けが終了されていることを実行委員が確認します。
10. 発表用の資料は原則として抄録集に掲載されたものとします。補足資料を配布される方は、50 部程度をご持参ください。配布も各自でお願いします。
11. 掲示したポスターは、ポスターセッションの座長が終了をお知らせした後、16:00 までに片付けてください。それ以降も掲示したままのポスターは大会実行委員会に取り外し、処分いたします。

ラウンドテーブル・ディスカッションについて

【ラウンドテーブル・ディスカッションの目的】

ラウンドテーブル・ディスカッションは、円卓を囲み、話題提供者（「発表者」、「オーガナイザー」）のテーマにより自由に意見を交換しながら議論する場です。しかし、議論した結果が特定の結論に至ることを課題としません。

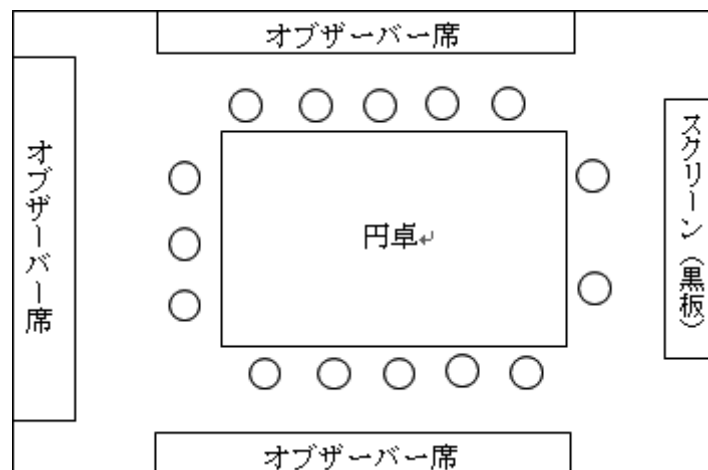
ラウンドテーブル・ディスカッションは研究成果を報告するだけではなく、現在抱えている研究上の疑問、現場での課題、課題についての解決策などを持ち寄り、参加者全員で当該のテーマについて議論します。また、これまでの現場での体験や研究成果をもとに新たな仮説を提案し、それをもとに議論することも可能です。

また、議論した内容を踏まえた上で、話題提供者だけでなく、フロアーにいらっしゃる方々の研究についても、改めて深く考えていただき、今後のご自身の研究をどのように発展させたいかを考え、その内容をグループで共有し、さらに意見や感想をやりとりしていただくような研究者の交流の場としてもご利用いただければと思います。テーブルを囲む参加者（討論者）は自由に発言できますし、それ以外の参加者であるテーブルの周囲の聴衆（オブザーバー）も議論に参加することも可能です。

【会場のレイアウト】

本大会では会場設営の都合上、円卓ではなくテーブルを口の字（四角）に配置し、椅子を 10～15 脚程度準備します。話題提供者（発表者・オーガナイザー）も参加者とともに着席します。参加希望者が多い場合は、周りのオブザーバー用の席をご利用いただきます。

ラウンドテーブル・ディスカッション会場イメージ



【セッションの時間】

1 つのセッションの時間は 60 分です。テーマによりセッションを 2 つ組み合わせた 120 分のセッションも可能です。

【セッションの運営について】

1. ラウンドテーブル・ディスカッションの参加者は、以下で構成されます。

「オーガナイザー」…セッションの企画者

「司会者」…話題提供者と討議の開始と進行を支える参加者

「発表者」…セッションにおける報告者

「討論者」…テーブルを囲んで討論する参加者

「オブザーバー」…テーブルの周囲の聴衆

(注)「参加者」は上記の全員、「話題提供者」は「オーガナイザー」と「発表者」の両方を指します。

2. まずは話題提供者が、研究の概要と論点についての説明を行ってください。セッションの時間の半分以上を討論の時間に充てるため、この説明が長くなりすぎないように気をつけてください。
3. 次に討論者全員が、ショートコメントをまじえた自己紹介を行ってください。
4. その後は話題提供者の発表に即した流れに沿いながら、討論者などからのコメントを交え、参加者全員で意見交換を進めてください。意見が活発に出始め、論点が具体化したらその流れに任せてください。
5. 司会者は第一の参加者として発言者を助け、ラウンドテーブルを囲む全員が交流できるよう、話題提供者と討議の開始と進行を支えてください。議論のための時間(セッションの半分以上)を確保するだけでなく、参加者に対し発言を促すようなことも状況に応じて行ってください。ただし、研究報告の主体は話題提供者であり、討議の主体は話題提供者と参加者です。司会者が進行を気に使わずとも、両者の発言が順調に進み始めたら、司会者は、討議については自然の成り行きに任せてください。なお、司会者は、全体の意見をまとめたり、結論づけたりすることに責任を負う必要はありません。一参加者として、意見の交流を楽しんでください。また、討論者や他の参加者と協力し、時間どおりの開始と終了を目指して、時間の管理と進行をお願いします。

※話題提供者はテーマについて議論できるような発表用の資料(プレゼン用ファイル、配付資料等)をご準備ください。補足資料がある場合は 30 部程度を目安として配布資料をご用意ください。発表には液晶プロジェクタ(VGA 方式)が利用できます。MacOS の場合は変換アダプタをご用意ください。PC はご自身のものをご用意し、セッション開始前に接続テストを済ませてください。

【オブザーバーの方へ】

ラウンドテーブル・ディスカッションでは、討議に加わらず、周囲で見学をするだけでも構いません。しかし、ご自身の意見を一言述べていただくだけでも研究の交流が生まれますので、可能な限りテーブルに着席し、討議に参加してください。一人でも多くの方に議論に参加していただければ、意見交換も盛り上がると思います。積極的なご参加をお願いいたします。

チュートリアルセミナー

日 時: 2019 年 9 月 3 日(火)

テーマ A: 14 時 15 分～17 時 15 分 テーマ B: 17 時 30 分～20 時 30 分

テーマ A: R における tidy なデータ処理と効率的な分析ルーティン—テキストマイニングでの応用例—

講 師: 石田基広 先生(徳島大学)

場 所: A 会場 (基礎工学 B 棟 B300)

概 要:

最近 R 界隈では tidyverse という分析フレームワークが浸透しています。tidyverse では、データの
前処理と分析方法を統一的な原理にもとづき一般化しようとしていると言えます。本チュートリアルでは、
この原理にならって、改めて R におけるデータ処理と分析の手順を確認します。同時に、機械学習周
りの手法について、テキスト分析を事例に紹介します。チュートリアル前半では、R でデータを操作す
るコツ(データの読み込みや tidy なデータ処理など)を解説します。また R の代表的なグラフィックス技
法である ggplot2 について説明します。

後半ではテキスト分析を例に、機械学習における分析ルーティンを紹介します。例えば、トピックモデ
ルや単語分散表現にもとづく分類や予測、センチメント分析などを取り上げます。なおパソコンを持参さ
れる受講者向けに、データや分析スクリプトを用意します。ただし、パソコンの持ち込みは必須ではなく、
前半後半ともに座学として聴講するだけでも構いません。

テーマ B: 欠測データの統計解析

場 所: A 会場 (基礎工学 B 棟 B300)

講 師: 高井啓二 先生(関西大学)

概 要:

本来観測されるはずが、その一部が観測されなかったデータを欠測データと言う。本チュートリアル
では、欠測データ解析の基礎的な概念や手法を紹介する。正規分布などの簡単だが重要な(数値)例
を用いて、欠測データ解析の手法が何を目標しているのか、何をしているのか、という点についての理
解を深めたい。

懇親会

日 時: 2019 年 9 月 5 日(木)18:20～20:30

場 所: 福利会館 4 階食堂

基調講演

本大会では大阪大学の二人の教授が基調講演を行います。両講演とも行動計量学に相応しい内容です。理工系からは石黒浩教授が人、人の心、ロボットを総合的に研究する文理融合研究を紹介します。石黒先生は本年 6/30 まで毎週日曜朝に放送の NHK ラジオ「こころをよむ」に出演されていました。

社会科学系からは行動経済学の第一人者である大竹文雄教授が登壇します。市民を動かすには？防災教育だけでは命を救えないとの掛け声の下、日本人の同調傾向に着目した施策とは？平成 30 年 7 月豪雨に襲われた広島県とのコラボ研究です。

日 時: 2019 年 9 月 5 日(木) 9:30～11:30

会 場: A 会場（基礎工学 B 棟 B300）

基調講演1: 石黒 浩(大阪大学)

タイトル: 「人と関わるロボットの研究開発」

講演者: 石黒 浩(大阪大学)

司会者: 狩野裕(大阪大学)

基調講演2: 大竹文雄(大阪大学)

タイトル: 「災害避難の行動経済学」

講演者: 大竹文雄(大阪大学)

司会者: 狩野裕(大阪大学)

第 47 回大会シンポジウム

第 47 回大会では以下のとおり大会シンポジウムを実施します。

日 時： 2019 年 9 月 5 日(木)14:10～15:40
会 場： 大阪大学大学院 基礎工学研究科 B300 教室

タイトル： ベイジアン的発想とデータ分析
司会・企画者： 繁桝算男(慶應義塾大学)

講演者：

松原 望(東大名誉教授)

「ベイズ統計学に Peirce の abductive reasoning は可能か」

松田安昌(東北大学)

「連続モデルと離散観測の隔たりを埋めるベイズモデルの方法と課題」

照井伸彦(東北大学)

「ビジネス・経済におけるベイズ統計：スモールデータとビッグデータのベイズモデリング」

繁桝算男(慶應義塾大学)

「潜在変数(e.g. 因子得点, 潜在クラス)を組み込んだモデルの説明力」

討論者：

矢島美寛(東北大)

概 要：

近年 MCMC 法などの数値的解析法が急速に発展し、「考え方はわかるけど実際には使えない」という感想を持たれてきたベイズ法が、AI や機械学習などに広く使われ、役に立つことが世間的に広く認められてきた。本シンポジウムは、新しいモデルや解析法の提案というよりも、ベイズ的な発想を深めることによって見えてくるベイズ的推論の特質、データから情報を取り出す新しい方法論の展開、経済学におけるビッグデータ分析や、心理学でよく用いられる潜在変数分析の効用と限界、などについてベイズ的アプローチの本質に迫る議論をすることを目的とする。

特別講演「柳井レクチャー」

第 47 回大会では以下のように特別講演「柳井レクチャー」を実施します。柳井レクチャーは、2013 年に逝去された故柳井晴夫先生の、行動計量学に関するご業績および学会へのご貢献を顕彰するため 2014 年 11 月 10 日開催の理事会にて創設が決定されました。柳井レクチャーでは、故柳井晴夫先生のご業績に鑑み行動科学における計量的方法の理論と応用について、講演者を毎年 1 名選出し、大会時に 1 時間程度の特別講演を行っていただきます。

日 時： 2019 年 9 月 5 日(木)15:50～16:50

会 場： A 会場（基礎工学 B 棟 B300）

タイトル：「社会行動学」の構想と行動計量学

講演者： 飽戸 弘（東京大学名誉教授、NTTドコモモバイル社会研究所理事長・所長）

司会者： 吉野諒三（統計数理研究所）

概要：

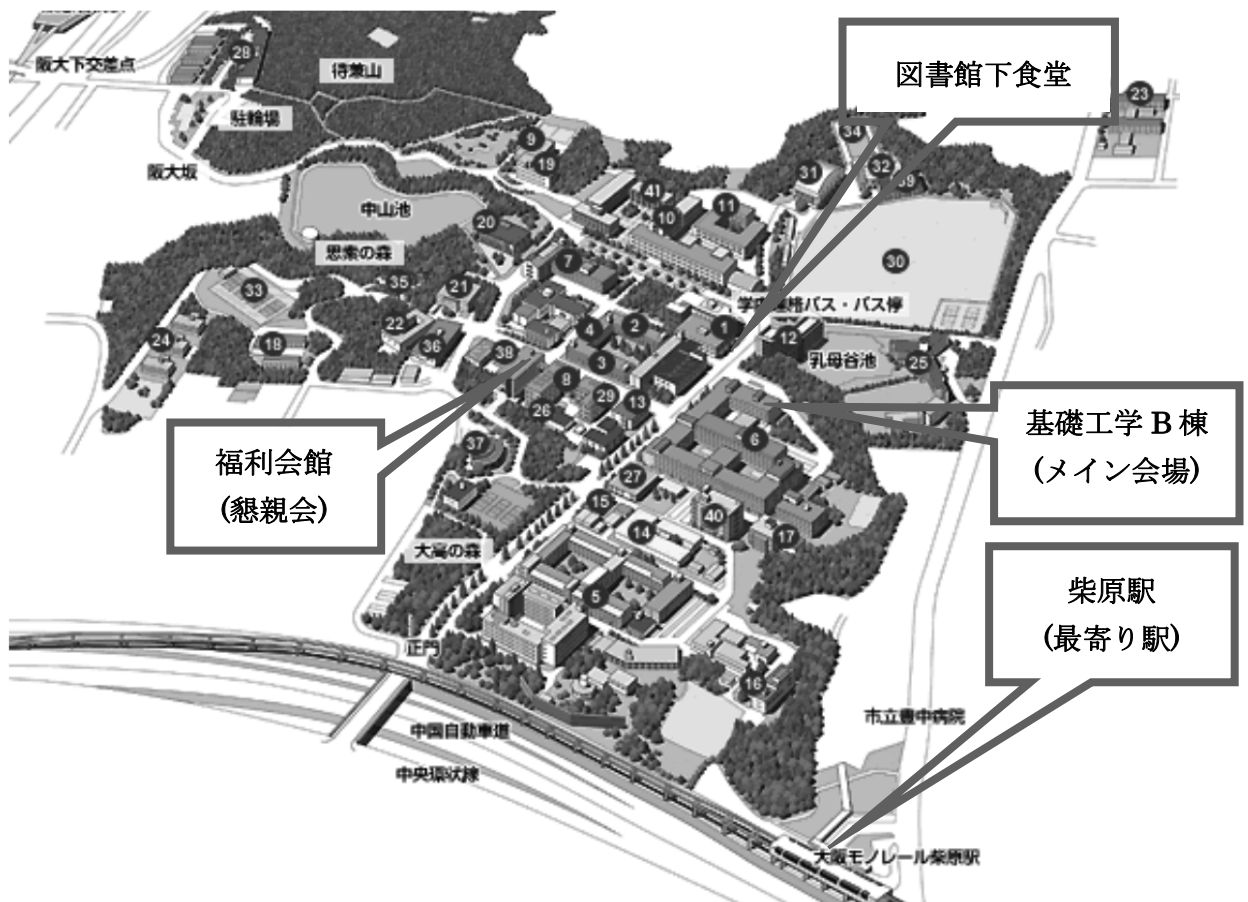
「データの氾濫と理論の貧困」が叫ばれて久しい。わが学会でも毎年優れた実証研究が報告され、その「データ」も、成果も、高い評価を得ているが、そうした成果が、行動科学や社会科学の「理論」の発展に、どの程度貢献しているだろうか。筆者が永年従事してきた「社会行動研究」を例に、いかにして理論の発展に寄与する研究ができるかを、ともに考えてみたい。

筆者の研究関心から「社会行動研究」を大きく 3 つの分野からなると想定する。①政治行動研究（投票行動研究、政治意識論、政治文化論など）、②消費者行動研究（購買動機、ブランド志向など）、③コミュニケーション研究（マスコミ研究、通信・インターネット研究など）、だ。

一方、行動計量学は、様々な行動科学的主題に関する「データ」（社会調査、市場調査、世論調査などによる）を「統計的手法」（多次元解析、数量化、多次元尺解析など）により、解析・考察する。ここで重要なことは、こうしてデータをただ蓄積していけば、自動的に理論が生まれてくる、というわけではないということだ。①～③までの各領域ごとに成立する「小さな理論」（作業仮説）まではあっても、①～③までを通じて成立する「中範囲の理論」（theory of middlerange）は乏しい。ここに当面の戦略的目標があろう。以下実例に即して検討してみたい。

<参照：飽戸 弘(2006)、『社会調査ハンドブック』、日本経済新聞社。>

大阪大学豊中キャンパスマップ



〒560-8531

豊中市待兼山 1-3

電話 06-6580-6111 (代表)

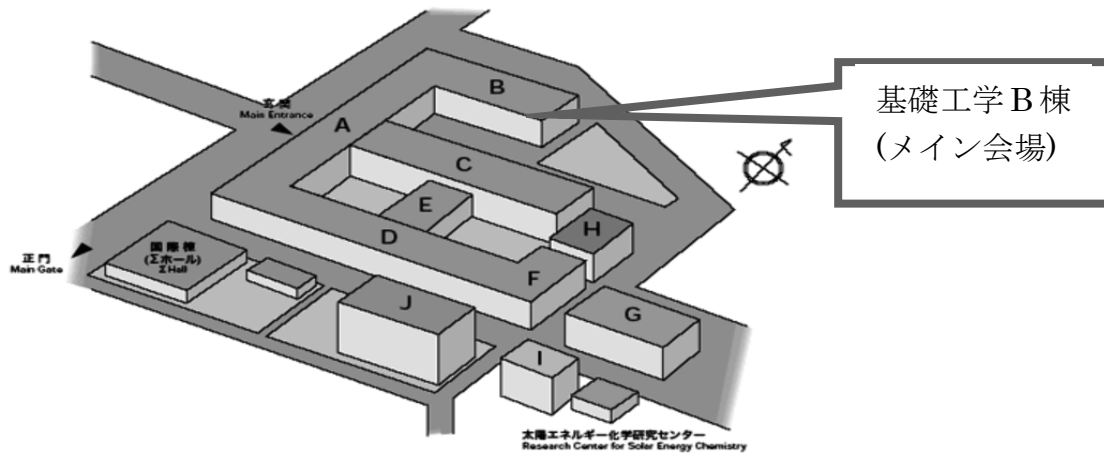
大阪モノレール

柴原駅下車 (徒歩 8 分)

阪急宝塚線

石橋駅 (徒歩 25 分)

会場見取り図



基礎工学B棟1階

北玄関			B棟正面玄関					
	階段	WC	B102(86) 展示+休憩	EV	階段	B101(54)		
WC		B105(86) ポスター セッション		B104(54) 予備		B103(121) 受付(本部)		

基礎工学B棟2階

																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							</
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

基礎工学B棟3階

階段	WC	B301(86) 会議室	EV	階段	B300(300) A会場
WC		B303(82) 会議室	B302(46) 会議室		

チュートリアル
基調講演
大会シンポジウム
柳井レクチャー
総会

第47回大会(大阪大学) セッション配置 (会場は変更されることがあります)

日程(曜日)	
時間帯	時間(分)

9月3日(火)		会場: 基礎工学B棟
		チュートリアルセミナー
14:15-17:15	180	「テキストマイニング」 石田基広(徳島大学) 「欠損データ解析」 高井啓二(関西大学)
17:30-20:30	180	

9月4日（水）		会場：基礎工学B棟				
		A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
10:00-12:00	120	特別セッション	特別セッション	特別セッション	特別セッション	ラウンドテーブル
		Causal inference and cyclic models	自記式質問紙調査法（郵送・Web）の課題と展望	非対称関連度行列の分析	人工知能はどのように社会を変えるか～経済学・教育学・社会関係資本論の視点からの検討～	10:00-11:00 クラスタリング法、正しく使えてますか？
		昼食				
13:00-15:00	120	一般	特別セッション	特別セッション	一般	ラウンドテーブル
		心理(1)	社会調査の実践	知識発見のためのマーケティングデータ分析	機械学習・アルゴリズム	ClusteringとSparse推定に関する最近の結果
15:20-17:20	120	一般	特別セッション	一般	特別セッション	ラウンドテーブル
		心理(2)	犯罪現象の行動計量	マーケティング	イベント空間の行動計量～IoT、ビッグデータ、AIを活用した「コト」のデジタルトランスフォーメーション～	15:20-16:20 非対称分析の可能性 16:30-17:30 低コスト教育用のビデオの作り方

9月5日(木)		会場: 基礎工学B棟 (B300)
09:30-11:30	120	基調講演1 石黒 浩(大阪大学)「人と関わるロボットの研究開発」 基調講演2 大竹文雄(大阪大学)「災害避難の行動経済学」
		昼食
12:30-14:00	90	ポスターセッション(コアタイム) 於: B105
14:10-15:40	90	大会シンポジウム(オーガナイザ: 繁桝算男) 「ベジジアン的発想とデータ分析」 松原 望, 松田保昌, 照井伸彦, 繁桝算男, 矢島美寛
15:50-16:50	60	柳井レクチャー
17:00-18:00	60	総会

18:20-20:30	120	懇親会: 福利会館4階食堂
-------------	-----	---------------

9月6日(金)		会場: 基礎工学B棟				
		A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
9:30-11:30	120	一般	一般	特別セッション	特別セッション	ラウンドテーブル
		数学・統計	社会	インタビューへの行動科学的アプローチ ～マーケティング・リサーチを中心とした展望～	確率的グラフィカルモデルと因果推論	9:30-10:30 スマートフォン時代のインターネット調査 ～回答品質を高めるために～ 10:40-11:40 異質性を探る: 潜在構造分析とベイズ統計的アプローチ
12:30-14:10	100	一般	一般	一般	特別セッション	特別セッション
		言語(1)	教育(1)	医学・福祉・介護	心理学におけるモデリングアプローチ	90分でわかる線形代数
14:20-15:40	80	一般	一般		特別セッション	
		言語(2)	教育(2)		心理学におけるモデリングアプローチ	

9 月 4 日(水)

10:00-12:00

9 月 4 日(水) 特別セッション(120 分)【A 会場 B300】

Causal inference and cyclic models

オーガナイザー,司会者:狩野裕(大阪大学大学院 基礎工学研究科)

SB1-1

Markov properties for non-linear structural causal models with cycles and latent confounder

○Forre Patrick (University of Amsterdam)

SB1-2

Causal discovery of cyclic nonlinear relations

Cyclic non-linear structure equation models with additive normal noise

○長瀬 真利雄(大阪大学大学院基礎工学研究科 システム創成専攻)

SB1-3

Causal discovery based on non-Gaussianity of data and its applications

○清水 昌平(滋賀大学 データサイエンス学系)

9 月 4 日(水) 特別セッション(120 分)【B 会場 B201】

自記式質問紙調査法(郵送・Web)の課題と展望

オーガナイザー,司会者,討論者:松田映二(埼玉大学)

オーガナイザー,討論者:林英夫(元関西大学教授)

SB2-1

アイトラッキングによる自記式質問紙への回答行動の分析

—研究動向と本研究の位置づけ—

○林 英夫(医療法人 豊明会), 浅川 雅美(文教大学健康栄養学部), 岡野 雅雄(文教大学情報学部)

SB2-2

アイトラッキングによる自記式質問紙への回答行動の分析

-郵送調査用質問紙の場合-

○岡野 雅雄(文教大学), 浅川 雅美(文教大学), 林 英夫(医療法人 豊明会)

SB2-3

アイトラッキングによる自記式質問紙への回答行動の分析

Web 調査用質問画面の場合

○浅川 雅美(文教大学), 岡野 雅雄(文教大学), 林 英夫(元関西大学教授)

SB2-4

郵送調査の質問・選択肢配置が回答に及ぼす影響
モーメントを適用した新尺度などによるバイアス要因の探索
○松田 映二(埼玉大学社会調査研究センター)

SB2-5

謝礼種別・調査票形式が郵送調査の品質に及ぼす影響
○江口 達也(朝日新聞社 世論調査部)

9月4日(水) 特別セッション(120分)【C会場 B202】
非対称関連度行列の分析

オーガナイザー,司会者:今泉忠(多摩大学経営情報学部)

SB3-1

An elementary theory of a dynamic weighted digraph (2)
Its relation to the theory of evolutionarily stable strategy
○千野 直仁(愛知学院大学心身科学部)

SB3-2

スライドベクトルを用いた Distance-association model について
○土田 潤(東京理科大学工学部情報工学科), 宿久 洋(同志社大学文化情報学部)

SB3-3

単相 2 元非対称類似度行列の楕円モデルの適用可能性
○今泉 忠(多摩大学経営情報学部)

SB3-4

画像データの分類によるブランドイメージの類似性と混同についての分析
○中山 厚穂(首都大学東京大学院経営学研究科)

SB3-5

特性に基づくブランドの評価
○岡太 彬訓(立教大学), 鶴見 裕之(横浜国立大学)

9月4日(水) 特別セッション(120分)【D会場 B203】
人工知能はどのように社会を変えるか
—経済学・教育学・社会関係資本論の視点からの検討

オーガナイザー,司会者:稲葉陽二(日本大学法学部)

SB4-1

AI は社会をどのように社会をかえるか 教育学からの示唆
○露口 健司(愛媛大学大学院)

SB4-2

AIは社会をどのようにかえるか ー経済学の視点・WEB調査からの示唆ー

○立福 家徳(日本大学法学部)

SB4-3

AIは社会をどのようにかえるか 経済学からの示唆

○稲葉 陽二(日本大学法学部)

10:00-11:00

9月4日(水) ラウンドテーブルディスカッション(60分)【E会場 B205】
クラスタリング法, 正しく使えていますか？

オーガナイザー, 司会者, 討論者: 山本倫生(岡山大学 大学院環境生命科学研究科/理化学研究所 革新知能統合研究センター)

オーガナイザー, 討論者: 寺田吉壺(大阪大学大学院・理研 AIP)

討論者: 谷岡健資(和歌山県立医科大学)

SB5-1

クラスタリング法の落とし穴

○寺田 吉壺(大阪大学 大学院基礎工学研究科/理化学研究所 革新知能統合研究センター), 山本 倫生(岡山大学 大学院環境生命科学研究科/理化学研究所 革新知能統合研究センター)

SB5-2

クラスタリング法の cheat sheet

○山本 倫生(岡山大学 大学院環境生命科学研究科/理化学研究所 革新知能統合研究センター), 寺田 吉壺(大阪大学 大学院基礎工学研究科/理化学研究所 革新知能統合研究センター), 谷岡 健資(和歌山県立医科大学医学部)

13:00-15:00

9月4日(水) 一般セッション(120分)【A会場 B300】
心理(1)

座長: 清水裕士(関西学院大学)

CA1-1 13:00~13:20

様々な5択選択肢での中間選択傾向と回答者のニューメラシー

○広田 すみれ(東京都市大学メディア情報学部)

CA1-2 13:20～13:40

解答時間データを利用した多次元多肢強制選択データの項目反応モデル

○分寺 杏介(東京大学大学院 教育学研究科), 岡田 謙介(東京大学大学院 教育学研究科)

CA1-3 13:40～14:00

男性の化粧品使用と個人特性の関係性

○石井 裕馬(大阪経済大学経営学部), 芳賀 麻誉美(大阪経済大学 経営学部)

CA1-4 14:00～14:20

フリマアプリの利用と個人特性の関係性分析

○中山 莉奈(大阪経済大学 経営学部), 芳賀 麻誉美(大阪経済大学 経営学部)

CA1-5 14:20～14:40

構成概念妥当性の検証と解釈可能な機械学習

○佐藤 平国(東北大学大学院経済学研究科)

9月4日(水) 特別セッション(120分)【B会場 B201】 社会調査の実践
--

オーガナイザー, 司会者, 討論者: 吉野 諒三(統計数理研究所)

SB6-1

社会的課題解決のための調査の実践

---「死刑制度廃止」に関する世論調査について---

○吉野 諒三(統計数理研究所)

SB6-2

東アジア環境意識調査に対する回顧と展望

○鄭 躍軍(同志社大学 文化情報学部)

SB6-3

Sampling Methods and Design of Environmental Consciousness Survey in Rural Areas of China

○陳 艷艷(福岡工業大学), 鄭 躍軍(同志社大学), 吉野 諒三(情報・システム研究機構), 吳 翌琳(中国人民大学)

SB6-4

環境をめぐる社会意識

○角田 弘子(日本ウェルネススポーツ大学), 吉野 諒三(統計数理研究所), 林 文(東洋英和女学院大学)

SB6-5

社会関係資本は AI に関する認識とどう結びついているのかーICT リテラシーを含めての分析

○稲葉 陽二(日本大学法学部)

9月4日(水) 特別セッション(120分)【C会場 B202】
知識発見のためのマーケティングデータ分析

オーガナイザー,司会者:中山厚穂(首都大学東京大学院経営学研究科)

オーガナイザー,討論者:鶴見裕之(横浜国立大学大学院)

SB7-1

Deep Learning を用いた画像データの分析によるブランドイメージの解明

○中山 厚穂(首都大学東京大学院経営学研究科)

SB7-2

経験が異なる場合のブランド評価モデル

分散を構造化した重回帰モデルの応用

○土田 尚弘((株)日本リサーチセンター)

SB7-3

属人性に依存しない、マーケティングデータからの マーケティング戦略・施策創出モデル構築と実践

○村山 幹朗(株式会社コレクション)

SB7-4

アンケートデータに見る回答の安定性について

○小代 禎彦(TOTO(株)商品安全センター)

SB7-5

院外心肺停止データと救急搬送データから見えるもの

○田久 浩志(国土舘大学大学院救急システム研究科)

9月4日(水) 一般セッション(120分)【D会場 B203】
機械学習・アルゴリズム

座長:山本倫生(岡山大学)

CA2-1 13:00～13:20

機械学習モデルによるメディア接触行動からのサービス利用意向形成の予測と解釈可能性の検討

○篠原 正裕((株)インテージ 先端技術部), 穴澤 純也((株)インテージ 先端技術部), 岡 律子((株)インテージ 先端技術部)

CA2-2 13:20～13:40

テキストデータによる観光資源のポジショニングとセグメントの探索的分析

広島県竹原市の観光地マーケティングの事例研究

○吉岡 研一(広島市立大学社会連携センター)

CA2-3 13:40～14:00

機械学習による Web 調査の不適切回答者抽出
異なる調査を用いた場合

○尾碕 幸謙(筑波大学大学院 ビジネス科学研究科), 石橋 敬介(流通経済研究所),
鈴木 貴士(筑波大学大学院ビジネス科学研究科), 前田 忠彦(統計数理研究所)

CA2-4 14:00～14:20

文節の共起を用いた企業倒産に関する判別分析

○許 麗夢(同志社大学文化情報学研究科), 金 明哲(同志社大学文化情報学部)

CA2-5 14:20～14:40

BiclustNet Model

○荘島 宏二郎(大学入試センター研究開発部)

CA2-6 14:40～15:00

トピックモデルを用いた記事と感想の分析

記事-感想トピック対応プロットによる分析

○楊井 一彦(花王株式会社パーソナルヘルスケア研究所), 寺内 美佐加(花王株式会社生活者研究部)

9 月 4 日(水) ラウンドテーブルディスカッション(120 分)【E 会場 B205】
Clustering と Sparse 推定に関する最近の結果

オーガナイザー: 鈴木 譲(大阪大学 大学院基礎工学研究科)

討論者: 寺田 吉壺(大阪大学基礎工学研究科)

SB8-1

Convex Clustering と Sparse 推定に関する一考察

○西山 侑希(大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻)

SB8-2

Convex Clustering の実装について

○CHEN JIE(大阪大学基礎工学研究科), 西山 侑希(大阪大学基礎工学研究科), 鈴木 譲(大阪大学基礎工学研究科)

SB8-3

グラフィカル Lasso とスパース推定に関する一考察

○張 秉元(大阪大学基礎工学研究科), 鈴木 譲(大阪大学)

SB8-4

Pliable Lasso に関する一考察

○五條 喜仁(大阪大学大学院基礎工学研究科), 鈴木 譲(大阪大学)

15:20-17:20

9月4日(水) 一般セッション(120分)【A会場 B300】
心理(2)

座長: 森川耕輔(大阪大学)

CA3-1 15:20~15:40

正規直交多項式主成分によるLikert型項目への反応スタイルの検討

○村上 隆(中京大学)

CA3-2 15:40~16:00

二分法的思考と質問紙における回答方法の検討

—対称・非対称な質問紙を用いて—

○石川 武(帝京大学大学院文学研究科), 橋本 貴充(大学入試センター研究開発部)

CA3-3 16:00~16:20

Web調査における回答選択肢数が同一選択回答に与える影響

潜在クラス分析による考察

○木村 邦博(東北大学)

CA3-4 16:20~16:40

Web調査の高速回答が心理尺度の因子構造と信頼性に及ぼす影響

知的好奇心尺度を使用した検証

○西川 一二(京都大学大学院), 楠見 孝(京都大学大学院)

CA3-5 16:40~17:00

顔グラフによる心的イメージの再現

○大森 拓哉(多摩大学経営情報学部)

9月4日(水) 特別セッション(120分)【B会場 B201】
犯罪現象の行動計量

オーガナイザー, 司会者: 島田貴仁(科学警察研究所 犯罪行動科学部)

SB9-1

連続性犯罪事件の犯人の居住地-犯行地間距離に関わる要因

○平間 一樹(科学警察研究所), 横田 賀英子(科学警察研究所), 大塚 祐輔(科学警察研究所), 藤村 光(科学警察研究所), 渡邊 和美(科学警察研究所), 和智 妙子(科学警察研究所)

SB9-2

ポリグラフ検査時の生理反応分析—系列内変動への注目—

○小川 時洋(科学警察研究所法科学第四部)

SB9-3

防犯ボランティア団体の実態調査—都市規模別の検討—

○山根 由子(科学警察研究所 犯罪行動科学部), 島田 貴仁(科学警察研究所 犯罪行動科学部), 齊藤 知範(科学警察研究所 犯罪行動科学部)

SB9-4

若年者の犯罪被害予防

日常生活に即した対策の検討

○齊藤 知範(科学警察研究所 犯罪行動科学部)

SB9-5

オープンデータ時代の犯罪の地理的分析—小地域集計データの可能性—

○島田 貴仁(科学警察研究所), 齊藤 知範(科学警察研究所), 山根 由子(科学警察研究所)

9月4日(水) 一般セッション(120分)【C会場 B202】
マーケティング

座長: 芳賀麻誉美(大阪経済大学)

CA4-1 15:20～15:40

購買履歴データを用いた商品特性の付与と消費者特性の推定

○石橋 敬介(流通経済研究所), 尾崎 幸謙(筑波大学大学院ビジネス科学研究科)

CA4-2 15:40～16:00

親と子の衣料品の好みの差が満足度に与える影響

○藤原 元輝(大阪経済大学 経営学部), 山幡 悠樹(大阪経済大学 経営学部), 芳賀麻誉美(大阪経済大学 経営学部)

CA4-3 16:00～16:20

ケータイ・スマホに関するライフスタイル研究(1)

— MNO・MVNO 選択に影響する要因 —

○松本 卓(NTTドコモ モバイル社会研究所), 飽戸 弘(東京大学名誉教授), 吉良 文夫(NTTドコモ モバイル社会研究所)

CA4-4 16:20～16:40

ケータイ・スマホに関するライフスタイル研究(2)

— スマホ利用によるシニアの生活変化 —

○水野 一成((株)NTTドコモ モバイル社会研究所), 飽戸 弘(東京大学名誉教授), 吉良 文夫(NTTドコモ モバイル社会研究所)

CA4-5 16:40～17:00

食生活と飲酒に関するアンケートと食生活とパンに関するアンケートの統合的分析

○三浦 まりあ(産業技術総合研究所), 櫻井 瑛一(産業技術総合研究所), 本村 陽一(産業技術総合研究所)

9月4日(水) 特別セッション(120分)【D会場 B203】

イベント空間の行動計量～IoT、ビッグデータ、AIを活用した「コト」のデジタルトランスフォーメーション～

オーガナイザー: 本村陽一(産業技術総合研究所 人工知能研究センター)

SB10-1

コトのデジタル化のための確率モデリング技術

時間、空間、人の確率潜在意味構造モデリング

○本村 陽一(産業技術総合研究所 人工知能研究センター)

SB10-2

イベント空間のモデリングによるイベント来場者と企画者の満足の最大化

○山下 和也(産業技術総合研究所 人工知能研究センター), 對間 悠一(ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社), 大和田 智之(産業技術総合研究所 人工知能研究センター), 大塚 芳嵩(産業技術総合研究所 人工知能研究センター), 竹田 会里(産業技術総合研究所 人工知能研究センター), 櫻井 瑛一(産業技術総合研究所 人工知能研究センター), 高岡 昂太(産業技術総合研究所 人工知能研究センター), 澤谷 真澄(ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社), 斉藤 裕一郎(ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社), 中庭 伊織(株式会社クリアタクト), 石田 和宏(株式会社クリアタクト), 長谷 篤拓(株式会社クリアタクト), 長谷川 裕久(株式会社 JTB コミュニケーションデザイン), 豊田 俊文(株式会社 東急エージェンシー), 潤間 励子(千葉大学 総合安全衛生管理機構), 本村 陽一(産業技術総合研究所 人工知能研究センター)

SB10-3

ビール記念館におけるデジタルサイネージによる来場者へのリコメンデーションとその反応について

○櫻井 瑛一(産業技術総合研究所), 荒木 茂樹(サッポロ HD), 道田 奈々江(広島大学), 本村 陽一(産業技術総合研究所)

SB10-4

AI 自動販売機 Reco!の概要と、デジタルシティアプリ開発の構想

AI 搭載サイネージ型自販機 Reco の実社会でのユースケースについて

○豊田 俊文((株)東急エージェンシー ソリューション開発局), 高岡 昂太((国研)産業技術総合研究所 AIRC 確率モデリング研究チーム)

SB10-5

健康情報を基点としたデータドリブン社会への展望

○大塚 芳嵩(産総研人工知能研究センター), 山下 和也(産総研人工知能研究センター), 潤間 励子(千葉大学総合安全衛生管理機構), 岩崎 寛(千葉大学大学院園芸学研究科), 本村 陽一(産総研人工知能研究センター)

15:20-16:20

9月4日(水) ラウンドテーブルディスカッション(60分)【E会場 B205】
非対称分析の可能性

オーガナイザー,司会者:今泉忠(多摩大学経営情報学部)

討論者:中山厚穂(首都大学東京)

SB11-1

非対称分析から見えること, 見えないこと

○今泉 忠(多摩大学経営情報学部)

SB11-2

マーケティングにおける非対称データの活用

○中山 厚穂(首都大学東京大学院経営学研究科)

16:30-17:30

9月4日(水) ラウンドテーブルディスカッション(60分)【E会場 B205】
低コスト教育用のビデオの作り方

オーガナイザー:朝倉暢彦(大阪大学・数理データ科学教育研究センター)

討論者:鈴木讓(大阪大学 大学院基礎工学研究科)

SB12-1

低コスト教育用のビデオの作り方

○鈴木 讓(大阪大学 大学院基礎工学研究科)

9月5日(木)

9:30-11:30

9月5日(木) 基調講演(120分)【A会場 B300】

オーガナイザー:狩野裕(大阪大学大学院 基礎工学研究科)

人と関わるロボットの研究開発

○石黒 浩(大阪大学)

災害避難の行動経済学

○大竹 文雄(大阪大学)

12:30-14:00

9月5日(木) ポスター発表(90分)【B105】

座長:鈴木讓(大阪大学)

P01

内閣支持率に対する経済評価の影響に関する検証
VAR-LiNGAMを適用した因果効果の分析
○大村 華子(関西学院大学総合政策学部)

P02

天候インデックス保険の農家評価
離散選択実験の適用
○合崎 英男(北海道大学大学院農学研究院), 古家 淳(国際農林水産業研究センター
社会科学領域), 櫻井 武司(東京大学大学院農学生命科学研究科), Swe Swe Mar
(Yezin Agricultural University)

P03

食品安全リスク意識と情報提供の関連性
実験的なWeb調査を用いた定量的検討
○加藤 直子(統計数理研究所), 前田 忠彦(統計数理研究所), 稲垣 佑典(統計数理
研究所), 立川 雅司(名古屋大学)

P04

奨学金の機会損失刺激による学生の意識と行動
○若山 大樹(駒澤大学)

P05

「生活ものさし」短縮版の作成の試み
○萩生田 伸子(埼玉大学教育学部), 富田 拓(網走刑務所), 大原 天青(東京都児童
相談センター)

P06

主観確率の測定と曖昧性忌避が表現できるモデルについて
○藤田 和也(東京大学), 岡田 謙介(東京大学)

P07

必須回答と冒頭宣誓がWeb調査の回答に及ぼす影響
○増田 真也(慶應義塾大学看護医療学部), 大野 浩(慶應義塾大学大学院システムデ
ザイン・マネジメント研究科)

P08

既知の能力値を考慮した深層学習によるテスト理論
○伊藤 徹郎(Classi(株))

P09

マルチタスク時の心的資源の分散に関する研究

○角力山 柊(東北工業大学 大学院 工学研究科 土木工学専攻), 菊池 輝(東北工業大学 工学部 都市マネジメント学科)

P10

運動の「記録」が運動習慣の継続に及ぼす影響の検証

当研究所「ヘルスケアに関する意識と行動についての調査」より

○渡辺 直紀((株)明治安田総合研究所 ヘルスケア・デジタル研究部)

P11

和音印象の一対比較におけるベイジアンモデリングを用いた変数の統合と個人差の推定

○橋本 翔(関西学院大学 理工学部), 下薗 大樹(関西学院大学 理工学研究科), 長田 典子(関西学院大学 理工学部)

P12

文章黙読における目の動きと読解処理に関わる認知機能の関係

○星野 英一(慶應義塾大学), 計良 陽子(慶應義塾大学), 皆川 泰代(慶應義塾大学)

P13

概念理解に関する脳 fMRI データおよび言語コーパスによる機械学習モデルと正準相関分析

赤間 啓之(東京工業大学), ○岡本 直己(東京工業大学), 四辻 嵩直(元東京工業大学), 松本 将和(東京工業大学)

P14

データサイエンス関連人材のキャリアに関する調査結果概要

○神谷 直樹(情報・システム研究機構 統計数理研究所), 川崎 能典(情報・システム研究機構 統計数理研究所)

14:10-15:40

9月5日(木) 大会シンポジウム(90分)【A会場 B300】

オーガナイザー,司会者:繁樹算男(慶應義塾大学)

討論者:矢島美寛(東北大学経済学部)

ベイズ統計学に Peirce の abductive reasoning は可能か

○松原 望(東京大学)

連続モデルと離散観測の隔たりを埋めるベイズモデルの方法と課題

Continuous ARMA モデルによる予測

○松田 安昌(東北大学大学院経済学研究科)

ビジネス・経済におけるベイズ統計

スモールデータとビッグデータのベイズモデリング

○照井 伸彦(東北大学大学院経済学研究科)

潜在変数を組み込んだモデルの説明力

○繁樹 算男(慶應義塾大学)

15:50-16:50

9月5日(木) 柳井レクチャー(60分)【A会場 B300】

司会者:吉野諒三(統計数理研究所)

「社会行動学」の構想と行動計量学

○飽戸 弘(東京大学名誉教授、NTTドコモモバイル社会研究所理事長・所長)

17:00-18:00

9月5日(水) 総会(60分) 【A会場 B300】

18:30-20:30

9月5日(水) 懇親会(120分)【福利会館 4階食堂】

9 月 6 日(金)

9:30-11:30

9 月 6 日(金) 一般セッション(120 分)【A 会場 B300】
数学・統計

座長: 濱田悦生(大阪大学)

CA5-1 9:30~9:50

Computer intensive Bayesian integration for model selection of density estimator
Comparison of two methods by a showing of the simulation
○岸 清武

CA5-2 9:50~10:10

Fast variational inference for linear dynamic models
○LI JIYAO(大阪大学基礎工学研究科), 狩野 裕(大阪大学基礎工学研究科)

CA5-3 10:10~10:30

Regularized factor model
○宇野 光平(ベネッセ教育総合研究所)

CA5-4 10:30~10:50

厳密 V-Structure 同定手法を組み込んだ RAI アルゴリズムによる大規模ベイジアンネットワーク学習
○名取 和樹(電気通信大学大学院), 植野 真臣(電気通信大学大学院)

CA5-5 10:50~11:10

連続・離散変換と回帰分析
○馬場 康維(情報・システム研究機構 統計数理研究所)

CA5-6 11:10~11:30

誤特定モデルにおける最小ファイ推定量の漸近キュムラント
○小笠原 春彦(小樽商科大学)

9 月 6 日(金) 一般セッション(120 分)【B 会場 B201】
社会

座長: 朝倉暢彦(大阪大学)

CA6-1 9:30~9:50

地域の社会関係資本分析における適切な単位地区についてのマルチレベル分析
○小藪 明生(早稲田大学文学学術院), 稲葉 陽二(日本大学法学部), 高木 大資(東京大学医学系研究科), 今村 晴彦(東邦大学医学部), 戸川 和成(筑波大学人文科学研究科)

CA6-2 9:50～10:10

Schwartz の「価値観モデル」の方法論的な検討

○真鍋 一史(統計数理研究所)

CA6-3 10:10～10:30

日本人の働き方・生き方に関する意識の変遷

○松本 渉(関西大学総合情報学部)

CA6-4 10:30～10:50

経路に沿った行動可視化を用いた運転特性分析

○森 毅(産業技術総合研究所人工知能研究センター確率モデリングチーム), 山崎 啓介(産業技術総合研究所人工知能研究センター確率モデリングチーム), 本村 陽一(産業技術総合研究所人工知能研究センター確率モデリングチーム)

CA6-5 10:50～11:10

The Scramble for Top Positions

Gender Differences in Interim Leaders' Performance in Dynamic Tournaments

○関 延媛(上智大学), 三橋 平(早稲田大学)

9月6日(金) 特別セッション(120分)【C会場 B202】

インタビューへの行動科学的アプローチ ～マーケティング・リサーチを中心とした展望～

オーガナイザー:小野滋((株)インサイトファクトリー)

オーガナイザー:芳賀麻誉美(大阪経済大学)

SB13-1

インタビュー調査への科学的接近:歴史と展望

～グループインタビューを中心に～

○芳賀 麻誉美(大阪経済大学)

SB13-2

マーケティングにおける生活者インタビュー ～問いと間に挑む実務者の立場から～

○ツノダ フミコ(株式会社ウエーブプラネット)

SB13-3

グループインタビューにおけるモデレーターの影響効果の定量化

○小林 治希(大阪経済大学 経営学部), ○高橋 彩純(大阪経済大学 経営学部), 芳賀 麻誉美(大阪経済大学)

SB13-4

言語モデルに基づくインタビュー参加者間相互作用の分析

○小野 滋((株)インサイトファクトリー)

SB13-5

フォーカス・グループ・インタビューの相互行為

モデレーターの働きかけと語りの関係性

○文野 洋(文京学院大学人間学部)

9月6日(金) 特別セッション(120分)【D会場 B203】
確率的グラフィカルモデルと因果推論

オーガナイザー,司会者:植野真臣(電気通信大学 情報理工学研究科)

SB14-1

ベイズアンネットワーク分類機の問題点とその改善策

○菅原 聖太(電気通信大学情報理工学研究科), 植野 真臣(電気通信大学情報理工学研究科)

SB14-2

大規模ベイズアンネットワーク学習

○名取 和樹(電気通信大学大学院), 植野 真臣(電気通信大学大学院)

SB14-3

The Branch and Bound for Bayesian Network Structure Learning

○Ran Mengfei(大阪大学基礎工学研究科), 稲岡 雄介(大阪大学基礎工学研究科), 鈴木 讓(大阪大学基礎工学研究科)

SB14-4

相互情報量の推定と、グラフィカル因果推論への応用

○下田 啓太(大阪大学大学院基礎工学研究科), 鈴木 讓(大阪大学 大学院 基礎工学研究科)

SB14-5

Faithfulness を仮定した事後確率最大のベイズアンネットワークの構造学習

○鈴木 讓(大阪大学 大学院基礎工学研究科)

9:30-10:30

9月6日(金) ラウンドテーブルディスカッション(60分)【E会場 B205】
スマートフォン時代のインターネット調査 ―回答品質を高めるために―

オーガナイザー,司会者:村上智章(株式会社マクロミル)

SB15-1

インターネット調査における選択肢の分割聴取による効果検証

○加藤 宏((株)インテージ)

SB15-2

ポスト平成のインターネット調査

デジタルライフの変化と世代差から考えるこれからのリサーチ

○岸田 典子((株)クロス・マーケティング)

10:40-11:40

9月6日(金) ラウンドテーブルディスカッション(60分)【E会場 B205】
異質性を探る:潜在構造分析とベイズ統計的アプローチ

オーガナイザー,司会者:木村邦博(東北大学)

SB16-1

行動科学における潜在クラスモデルの応用

○木村 邦博(東北大学)

SB16-2

異質性に取り組む数理・計量心理学のベイズ統計的アプローチ

○岡田 謙介(東京大学大学院教育学研究科)

12:30-14:00

9月6日(金) 一般セッション(100分)【A会場 B300】
言語(1)

座長:上阪彩香(大阪大学)

CA7-1 12:30~12:50

過去百年間における小説の文体変容についての定量的分析

○李 広微(同志社大学文化情報学研究科), 金 明哲(同志社大学文化情報学部)

CA7-2 12:50~13:10

菊池寛「妖妻記」の改題前後の文体分析

○柳 燐佳(同志社大学文化情報学研究科), 金 明哲(同志社大学文化情報学部)

CA7-3 13:10~13:30

計量分析による『源氏物語』三部構成説の検討

○土山 玄(一橋大学)

CA7-4 13:30~13:50

川端康成の埋もれた小説『美しい』の文体計量分析

○孫 昊(同志社大学文化情報学研究科), 金 明哲(同志社大学文化情報学部)

CA7-5 13:50~14:10

t-SNEを用いたテキストアナリティクス

○劉 雪琴(同志社大学文化情報学研究科), 金 明哲(同志社大学文化情報学部)

9月6日(金) 一般セッション(100分)【B会場 B201】
教育(1)

座長: 宇野光平(大阪大学)

CA8-1 12:30～12:50

面接試験における直感評定の妥当性評価と評定に影響を与える要因の検討

○森 一将(文教大学経営学部), 橋本 貴充(独立行政法人 大学入試センター), 大江 朋子(帝京大学文学部)

CA8-2 12:50～13:10

適応型学習のための統計モデルと教材の推薦方策の提案

○石川 航作(株式会社東芝デジタルソリューションズ), 林 賢一(慶應義塾大学理工学部)

CA8-3 13:10～13:30

時系列学習データを用いた隠れマルコフ IRT による高精度パフォーマンス予測

○堤 瑛美子(電気通信大学情報理工学研究科), 宇都 雅輝(電気通信大学), 植野 真臣(電気通信大学)

CA8-4 13:30～13:50

受検者のランダムサンプリングを仮定しない深層学習によるテスト理論

Item Deep Response Theory

○木下 涼(電気通信大学情報理工学研究科), 植野 真臣(電気通信大学情報理工学研究科)

CA8-5 13:50～14:10

多次元項目反応モデルを使った情報活用能力調査の再分析

下位尺度の推定に関する基礎的研究

○袈岩 晶(国立教育政策研究所), 篠原 真子(国立教育政策研究所)

9月6日(金) 一般セッション(100分)【C会場 B202】
医学・看護・福祉

座長: 寺田吉壺(大阪大学)

CA9-1 12:30～12:50

情報科学演習受講生の性格特性は一樣か

○安田 晃(島根大学医学部医療情報学講座), 平野 章二(島根大学医学部医療情報学講座), 津本 周作(島根大学医学部医療情報学講座)

CA9-2 12:50～13:10

人工肛門保有者の排ガス音の客観的評価: 発生パターンと音の特徴量の日内変動に関する検討

○田嶋 哲也(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻), 大野 ゆう子(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻), 安藤 嘉子(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

CA9-3 13:10～13:30

働く糖尿病患者における仕事からくるストレスと治療からくるストレス

○藤田 彩香(大阪大学医学系研究科), 大野 ゆう子(大阪大学大学院医学系研究科),
渡辺 宗一郎(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

CA9-4 13:30～13:50

手術室看護記録の音声入力支援に関する基礎的検討 1

周術期看護分野での音声入力変換のための辞書づくり

○永安 真弓(大阪大学医学系研究科), 大野 ゆう子(大阪大学医学系研究科)

CA9-5 13:50～14:10

手術室看護記録の音声入力支援に関する基礎的検討 2

個別マイクと定点マイクの雑音ののりかたの比較

○安藤 菜摘子(大阪大学医学系研究科保健学専攻), 大野 ゆう子(大阪大学医学部保健学科)

**9月6日(金) 特別セッション(180分)【D会場 B203】
心理学におけるモデリングアプローチ**

オーガナイザー, 司会者: 小杉考司(専修大学人間科学部)

SB17-1

潜在的自尊心の統計モデリング: diffusion IAT を用いた推定

Web 実験による文化比較

○清水 裕士(関西学院大学社会学部), 三浦 麻子(大阪大学大学院人間科学研究科), 小林 哲郎(香港城市大学)

SB17-2

いかにして資源を分けるべきか——分配的正義をめぐる会話データのモデリング——

○上島 淳史(東京大学大学院人文社会系研究科), 亀田 達也(東京大学大学院人文社会系研究科)

SB17-3

ベイジアン ERGM によるコミュニケーションネットワーク構造分析

○越智 宏明(専修大学 文学研究科 心理学専攻), 小杉 考司(専修大学 人間科学部)

SB17-4

逆転項目の反応過程を考慮したベイズ項目反応モデルの比較・検討

○北條 大樹(東京大学大学院教育学研究科), 二瓶 正登(専修大学大学院文学研究科), 岡田 謙介(東京大学大学院教育学研究科)

SB17-5

傾いた文字の正像・鏡像判断は本当に混合プロセスなのか?

WAIC とベイズファクターによるモデル比較

○武藤 拓之(立命館大学 OIC 総合研究機構/日本学術振興会)

SB17-6

ギャンブル課題を用いた認知モデリング

○柚取 恵太(専修大学大学院文学研究科)

SB17-7

認知モデリングにおける実験刺激の選択について
——モデル選択とパラメータの推定精度の観点から——

○藤田 和也(東京大学), 岡田 謙介(東京大学)

SB17-8

状態空間モデルによるポリグラフ検査データの解析
ー生理反応に対するモデリングアプローチー

○小野 修一(山口県警察本部科学捜査研究所)

SB17-9

ソシオメトリックデータに対する FunctionalMDS の適用

○池田 孝恒(専修大学大学院文学部心理学専攻), 小杉 考司(専修大学人間科学部)

9月6日(金) 特別セッション(90分)【E会場 B205】
90分でわかる線形代数

オーガナイザー: 鈴木 譲(大阪大学 大学院基礎工学研究科)

SB18-1

90分でわかる線形代数

○鈴木 譲(大阪大学 大学院基礎工学研究科)

14:20-15:40

9月6日(金) 一般セッション(80分)【A会場 B300】
言語(2)

座長: 高岸茉莉子(大阪大学)

CA10-1 14:20~14:40

小説会話文における発話者の性別推定

○中川 翔太(同志社大学文化情報学研究科), 孫 昊(同志社大学文化情報学研究科), 金 明哲(同志社大学文化情報学部)

CA10-2 14:40~15:00

機能表現のカテゴリーを用いた文体の分類

○黄 善玉(同志社大学文化情報研究科), 金 明哲(同志社大学文化情報学部)

CA10-3 15:00～15:20

著者識別における統合的分類アルゴリズムの比較

○渡辺 隼(同志社大学文化情報学研究科), 孫 昊(同志社大学文化情報学研究科),
金 明哲(同志社大学文化情報学部)

9月6日(金) 一般セッション(80分)【B会場 B201】
教育(2)

座長: 橋本翔(関西学院大学)

CA11-1 14:20～14:40

最適化問題を用いた等質適応型テスト

○宮澤 芳光(大学入試センター), 植野 真臣(電気通信大学)

CA11-2 14:40～15:00

Dutch Identity を利用した項目反応モデルの項目母数の推定

○横井 智広(大阪大学大学院基礎工学研究科), 狩野 裕(大阪大学大学院基礎工学研究科)

CA11-3 15:00～15:20

ニューラルネットワークを用いた事象関連電位による正答率の推定

○船田 眞里子(白鷗大学経営学部), 船田 忠((株)藤掛商店)

日本行動計量学会第 47 回大会

主催: 日本行動計量学会第 47 回大会実行委員会

於: 大阪大学

開催日: 2019 年 9 月 3 日～9 月 6 日

○ 実行委員会

大会実行委員会委員長

狩野 裕(大阪大学)

大会実行委員会副委員長

鈴木 譲(大阪大学)

実行委員

朝倉 暢彦(大阪大学)

足立 浩平(大阪大学)

上阪 彩香(大阪大学)

上野 雄史(静岡県立大学)

宇野 光平(大阪大学)

大野 ゆう子(大阪大学)

大森 拓哉(多摩大学)

吉川 徹(大阪大学)

高岸 茉莉子(大阪大学)

寺田 吉壺(大阪大学)

芳賀 麻誉美(大阪経済大学)

橋本 翔(関西学院大学)

濱田 悦生(大阪大学)

藤井 誠二(新潟県立大学)

松本 渉(関西大学)

森川 耕輔(大阪大学)

山本 倫生(岡山大学)

横山 暁(青山学院大学)

吉田 清隆(杏林大学)

○ 協賛(2019 年 6 月 18 日現在)

アイブリッジ株式会社

株式会社 朝倉書店

株式会社 ALBERT(アルベルト)

株式会社 NTT データ数理システム

株式会社 NTTドコモ モバイル社会研究所

NMatrix Service and Products

株式会社 北大路書房

株式会社 講談社

一般社団法人 社会調査協会

株式会社 ナカニシヤ出版

株式会社 マクロミル

株式会社 有斐閣

楽天インサイト株式会社

編集: 日本行動計量学会第 47 回大会実行委員会
発行: 日本行動計量学会